



特集 知ってほしいな

たはらの農業は「日本一」

恵まれた温暖な気候を活かし、農業が発展してきた渥美半島。

昭和43年の豊川用水の全面通水以降、大規模な生産基盤の整備が進められ、全国的にも類を見ない農業先進地となりました。

景気の低迷が、引き続き市内の企業に影響を与えている今、改めて、田原市の基幹産業「農業」に目を向けてみましょう。

何が「日本一」なの？

田原市の農業は、とてもバラエティに富んでいます。野菜類ではキャベツ、トマト、ブロッコリー、メロン、スイカなどが、花き類では菊などが栽培され、畜産も、豚、牛、鶏、うずらと多彩です。そして、これらの産出額の合計が日本一を誇っているのです。また、「花きの産出額（354億円）」も日本一です。作物別では、菊、バラ、アルスト

ロメリアの産出額が日本一のほか、多くの野菜、花き類が上位となっています。そのほか、主な愛知県内1位の指標は、次のとおりです。

●農業産出額ベスト5 《全国市町村》

- 1 田原市 724 億円
- 2 都城市 698 億円
- 3 新潟市 655 億円
- 4 浜松市 540 億円
- 5 鉾田市 539 億円

(H18 年生産農業所得統計)

●主な愛知県内1位

- ◆畜産の産出額 167 億円 《全国9位》
- ◆耕種産出額 (野菜・花き・果実) 557 億円 《全国2位》

- ◆農家1戸当たり生産農業所得 580万円
- ◆耕地10㌥当たり生産農業所得 41万円
- ◆農業就業者の割合 31.7% ※1

(※1はH17国勢調査、それ以外はH18年生産農業所得統計。H18年のデータが最新)



●アルストロメリアの栽培風景 (古田町)